

建物

多くの歴史が残るまちの「昭和レトロ感あふれる市営住宅」

最終更新日： 2020/4/1
作成日： 2020/4/1

基本情報

1. 地域名	筑後	2. 活用可能時期	1年以内に活用可能
3. 現在の名称	大牟田市営築島住宅	7. 物件の種類	住宅（職員住宅、市営住宅等）
4. 所在地（住居表示）	大牟田市三池604-8		（その他の場合）
5. 所在地（地番）		8. 都市計画区域	都市計画区域内（市街化区域）
6. 交通アクセス	大牟田駅から3.9km 西鉄バス神田脇バス停から200m	9. 用途地域	第一種住居地域
		10. 建ぺい率・容積率	60 % ・ 200 %


外観写真



内観写真



物件状況

11. 財産区分	行政財産	22. 電気	有	位置図 
12. 敷地面積	2,212 m ²	23. 給水設備	有（上水道）	
13. 棟数	4 棟	24. 排水設備	有（汲取り）	
14. 延床面積	685 m ²	25. ガス	有（プロパンガス）	
15. 築年	1960 年	26. インターネット	無	
16. 階数	地上2階建	27. 物件状況の特記事項	・住棟：C B造2階建て4棟20戸（メゾネット型） ・統廃合により高泉市住建替え後のR5年6月に現入居者移転予定により、指定管理者業務外となる。	
17. 構造	コンクリートブロック造			
18. 耐震補強	不要			
19. 検査済証等				
20. 駐車場	敷地内に駐車可能（約10台）			
21. 管理運営形態	指定管理			

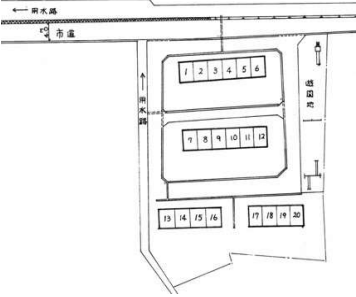
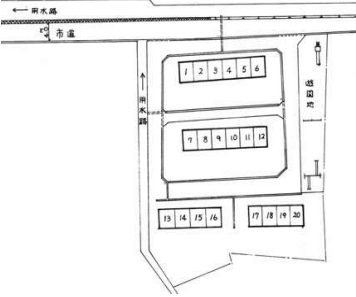
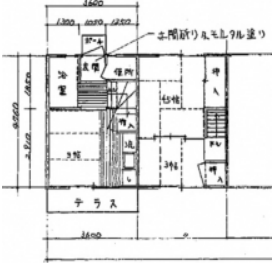
活用方針

28. 活用可能手法	暫定利用：○ 貸付：○ 売却：○ △は未定（その他特記事項に記載）	29. 予定価格	売却可（売却価格は要協議） 賃貸可（賃貸価格は要協議）
------------	--------------------------------------	----------	--------------------------------

PRポイントなど

30. PRポイント	<p>・大牟田市営築島住宅は、大牟田市の東部に位置し良好な住宅地に立地しており、立地適正化計画において都市機能誘導区域に入っている。</p> <p>・幹線道路に近接し、最寄バス停まで徒歩4分、中心市街地からバスで約13分とアクセスはしやすい。</p> <p>・敷地の東側には、三池山・上徳山・大間山などの小高い山が連なり、豊かな自然を身近に感じることができる。</p> <p>・1km圏内に総合病院が2施設があり医療機関が充実し、保育園、小学校、中学校等文教施設や三池地区公民館、大型スーパーが2店舗、金融機関も徒歩圏内にあるなど、利便性の高い地域である。</p> <p>・昭和35年に建設された4棟20戸、C B造のメゾネット型の小規模な市営住宅であり、昭和30年代の公営住宅の雰囲気を残したレトロ感のある住宅である。</p> <p>・大牟田市営築島住宅の位置する「三池」は、参勤交代の三池街道宿場町として栄えたまちで、多くの歴史や伝統が残る地域である。</p> <p>・伝統行事では火災除け祈願行事の「臼かぶり」・300年以上の歴史を持ち近接する幹線道路において400mに渡り歩行者天国となり約200店の出店が並ぶ「三池初市」・三池から始まった大牟田の祇園祭「大牟田大蛇山まつり」などが現代にも受け継がれている。三池の歴史に欠かせない三池山に古くからたたずむ山寺など、他にも宿場町の名残りが広範囲にわたり残っている。</p> <p>・歴史ある三池のまちの伝統を守る熱い思いを持つ人々が多く存在し、地域の公民館や老人会、PTA等が構成団体となり、三池校区まちづくり協議会を設立しており、竹灯笼による地域おこし「三池光竹」や高齢者の見守り啓発イベント「SOSネットワーク模擬訓練」等、地域の安全や活性化に繋がる様々なイベントが催されている。また医師であり、先日アフガニスタンで亡くなられた中村哲医師の居住地でもあり、貧しい国の子供たちの為に、市内の幼稚園で募金活動等の拠点となっていたまちである。</p> <p>・三池地区の人口は減少傾向にあり、今後も減少する予測が出ている。しかし、近年の戸建住宅建設の動向では、市内の校区で2番目に転入が多い地域となっており、人気のエリアとなっている。</p>
------------	--

31. 補助金など			
32. その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・20戸のうち11戸（R1.12.1現在）が空き家であり、R5年6月に現入居者が移転完了予定である。 ・全体での活用は、R5年度以降可能。現時点での空き家の活用は、国への目的外申請許可を受け、その後すぐにも可能。 ・建物は、今後統廃合により行政財産としての役目を終える予定となっており、建物の改修は自由に可能である。 ・R5年度までは空き家部分の活用、R5年以降は全体での活用が可能である。 ・この建物（建物が活用可能であれば）や地域の魅力を活かした活用方法を模索している。売却・賃貸ともに可である。 ・地域の賑わいや今後の大牟田を担う若者や子供たちの支援に繋がる活用方法等多様な提案を希望する。 		
33. 所有自治体	大牟田市	35. 電話番号	0944-41-2787
34. お問い合わせ先	都市整備部建築住宅課	36. メールアドレス	e-kenchiku01@city.omuta.fukuoka.jp

<p>敷地図</p> 	<p>配置図</p> 	<p>平面図 (1階)</p>  <p>1階平面図 2階平面図 1/100</p>
---	---	---

物件写真等

<p>上空写真 (東側の三池方面)</p> 	<p>上空写真 (西側の中心市街地方面)</p> 	<p>上空写真 (全体配置)</p> 
--	--	--

<p>並んだ玄関が可愛い住棟の外観</p> 	<p>キッチン1 (塗り替えバージョン)</p> 	<p>キッチン2 (シックバージョン)</p> 
---	---	--

<p>2間続きの2階</p> 	<p>玄関</p> 	<p>玄関と階段</p> 
--	---	--

		
--	--	---